

令和7年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立落合第四小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和7年5月2日】

授業作り	重点	校内研究を中心として、児童の実態に即した指導を工夫するとともに、教科横断的な指導の視点を持ち、学んだことを他教科等でも活用することができるよう、引き続き振り返りと評価の充実を図りながら「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指す。また、AI機能をもつデジタル教材や協働学習支援ツールなど、一人1台のタブレット端末やICT機器を効果的に活用した授業を推進する。
環境作り		写真や絵、ICT機器の活用等を図り、情報を視覚的に提示するよう工夫する。また、ユニバーサルデザインの観点から、掲示板のカーテンを適宜使用し、ホワイトボードまわりの情報を制限して、児童が落ち着いて学習に取り組めるよう環境を整える。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学習に取り組めるよう基礎基本の指導に丁寧に取り組む、学びの楽しさや積み上がりを児童が実感できるようにする。 幼児期の学びを生かし、安心して様々な学習に向かえるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 友達に自分の考えを表現する活動の充実 ② 「園ではどうしていたか」と問うなど、課題の解決に向けて自分の考えで取り組めるようにするための声掛け
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、漢字の混じった文章をすらすらと読むとともに、文章の内容を正確に理解する力を伸ばす。 マス目の使い方を覚え、既習の漢字、片仮名、助詞や、拗音、促音等を適切に使用して、学習の中で書きたいと思う内容を簡単な文章に表す力を身に付けさせる。 漢字の定着を図り、既習の漢字を読んだり使ったりすることができるようにする。 計算能力の個人差が大きいため、1桁の足し算や引き算、2桁の筆算など、2年で必要な計算能力を確実に身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 毎日文章を読む習慣付けをするための、家庭学習による音読の取組 ② 生活文、紹介文や説明文等を順序立てて書く活動 ③ デジタルドリルの活用 ④ 既習の計算の復習 ⑤ 文章題に線を引き、内容を確認する活動

<p>3 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査では、国語は、全国平均を上回っているが、区の平均を下回っている。特に、知識・技能の観点が少し下回っている。読解力と思いを文章にする力は身に付いているので、言葉の語彙力を付けさせたい。 算数は、区の平均及び全国の平均を上回っている。特に、データの活用の問題が新宿区平均より7%上回っている。また、図形の問題、加法・減法に苦手が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語では内容を理解しながら聞くことに重点を置いて指導する。聞いたことを自分の言葉に置き換えたり、一つの意味を複数の言葉で表現したりする力を育て、話す時にも活用できるようにする。また、読書の時間を確保して語彙を増やすとともに、漢字の書き取りの定着を図る。 算数では、既習の基礎・基本となる内容を理解し定着を図るとともに、計算力を身に付けるようにする。また、図形については、描画を中心にして概念を捉えるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 聞く環境を整える声掛け ② 全校朝会での話の内容を毎回確認することによる聞き取りの意識付け ③ 漢字の定着のための小テストの活用 ④ 漢字練習や再テストをすすんで行った児童を称え、意欲をもたせる声掛け ⑤ デジタルドリルの活用 ⑥ 語彙力を高めるための読書の時間の確保 ⑦ 算数少人数のクラス分けで人数を減らすことによる十分な個別指導
<p>4 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査では、国語は、「知識・技能」や「書くこと」と「言葉・情報・言語文化」が区平均より下回った。「話すこと・聞くこと」は、区平均より上回った。 算数は、すべての項目で区平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語では、漢字の書き取りや意味理解、言葉の使い方などの基礎的な力を習得できるようにする。 指定された長さで文章を書いたり、目的に応じて書いたりする力を身に付けさせる。 算数では、特に下回った「図形」、「測定」領域の力を身に付けさせるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 漢字の学習時間の確保 ② 間違えた漢字直しの徹底 ③ 自主学习で意味調べや短文づくりを行う声掛け ④ 学習の振り返りや日記等を書く活動 ⑤ 図形を描く時間や測定する時間の十分な確保 ⑥ デジタルドリルの活用
<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査では、国語は、話すこと・聞くことの領域が区の平均を下回った。 算数は、すべての観点・領域で区の平均を上回ったが、問題文を正しく読み取り、立式する力はまだ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語では、内容を理解しながら聞くことに重点を置き、聞いたことを自分の言葉に置き換えたり、一つの意味を複数の言葉で表現したりする力を育て、話す時に活用できるようにする。 算数では、文章問題を正しく読み取り、演算を決定する力を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 友達の考えを聞いて自分の考えを広げたり、友達の考えをもとに自分の考えを表現したりする力を付けるためのペア学習やグループ学習の充実 ② 問題場面を正しく捉えるために、簡単な図を描くことなどが自分でできるようにするための指導の継続 ③ デジタルドリルの活用

<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新宿区学力定着度調査では、国語は、読むこと、書くことの領域で新宿区の平均を約4ポイント下回った。 ・ 算数は新宿区の平均とほぼ同等であったが、思考・判断・表現の観点で、平均を1.7ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の中心や、段落ごとの要点を整理しながら読む力を身に付けさせる。 ・ 書く活動自体に苦手意識があり、避けようとする児童もいるため、苦手意識を取り除き、自信をつけさせるようにする。 ・ 計算の繰り返し学習に取り組みせ、基礎的な力を定着させる。 ・ 解き方を説明したり、他の解き方を考えたりする力を身に付けさせながら、思考力、表現力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 読みを深めるため、個人での読み取りの後に友達と比べたりグループで交流したりする場の設定 ② 書く内容を明確にしたスモールステップでの取組 ③ 日常的に短文でも文章で表現する場の設定 ④ デジタルドリルと紙のドリルの併用 ⑤ 解き方を友達に説明する活動の充実
----------------------	--	--	--